

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
株式会社 ナカヒロ	繊維 商社	111名	<p>新型コロナウイルス感染症対策の一環として出勤率を50%とし在宅勤務を実施。 当初は在宅勤務ができるリモート接続環境の利用可能数のごく少なく、ほぼ自宅待機の状態であった。</p> <p>※基本的には緊急事態宣言が発出された際に在宅勤務を実施。時差出勤については継続して実施している。</p>	<p>①社員全員のデスクトップPCをノートPCへ入れ替えを実施。 ②従来のリモート接続方式に代わる新しいツールをノートPCに導入。ノートPC導入と並行して、グループ会社で新規導入したリモート接続環境を採用、その接続ツールを導入。従来環境は廃止。 ③受信FAXを導入し、テレワーク環境でもファックス受信内容を確認可能にした。 ④社外用webミーティングツールとして「Zoom」を導入。 ⑤営業職だけではなく、営業事務職へも社有携帯電話を貸与。 ⑥在宅勤務時の仕事時間とプライベート時間の切り替え・時間外勤務削減への取組の一環としてPCの電源オンオフを実施。午前8時・午後8時に自動的に電源が切れるシステムを導入した。休日についてもPC使用不可としている。</p>	<p>①②会社のPCを在宅勤務時に自宅に持ち帰れるようになり、リモート接続ツールを導入したことにより、社内と同様の業務ができる率が高くなった。ただし、自宅にWi-Fiを持たない社員に対する対応が今後の課題。貸与用のモバイルルータは数に限りがある。 ③以前は、出勤している社員がファックスをスキャンし対象社員へメールで送るという方法を行っており、出勤している社員に負担がかかっていたが、データで受信できることにより負担軽減に繋がった。 ④コロナ禍で訪問が難しい取引先との商談ができるようになった。また、移動時間の軽減に繋がった。 ⑤営業事務職へ社有携帯電話を貸与することによって、在宅勤務時にも取引先との電話確認に対応できるようになった。 ⑥時間内に業務を終了するために、業務の効率化への意識が高まり、ワーク・ライフ・バランスの意識が高まってきた。</p>